



沼高トピックス

芸術鑑賞(演劇)編

第208号 令和7年11月12日(水)発行

11月6日(木)に芸術鑑賞を実施しました。本校では、年ごとに演劇→音楽→古典芸能の順で内容を変えており、今年度は東京演劇集団“風”による演劇『ヘレン・ケラー 〜ひびき合うものたち』を鑑賞しました。

ヘレン・ケラーはアメリカ南部アラバマ州の農場で生まれ、2歳の誕生日を迎える前に突然の病気で一切の光と音を失いました。この度上演された演劇は、7歳になったヘレンと彼女の家庭教師としてボストンの盲学校から推薦を受けたアニーとの1か月ほどの期間を描いた物語です。アニーは、なかなか心を開いてくれないヘレンやヘレンを心配するあまり混乱する父親に翻弄されながらも、体当たりで指文字を教え、コミュニケーションを図り続けました。そしてアニーの情熱によりヘレンに激しい変化が起こっていきます。幕の終わりにヘレンと父親が、そしてヘレンとアニーが抱き合うシーンは感動的でした。中には涙を流しながら鑑賞した生徒もいたようです。



鑑賞が終わったあと、生徒たちはホームルームで感想を書きました。その後、希望する生徒は舞台の撤去作業を手伝ったり、劇団の方々と交流を持つ場も設けられました。舞台がどのように作られているのか、演者の方々のエピソードや苦労話も聞けて、楽しく興味深い時間を過ごすことができました。

